

災害から命を守る 揖斐川町総合防災訓練

実践的な防災訓練で意識を向上

8月31日(日)、大地震を想定した防災訓練が、小島小学校を主会場として行われました。

訓練は、静岡県駿河湾と紀伊半島南東沖をそれぞれ震源とする地震が連続で発生したことを想定したもので、町全域で約1万人が地域の集会場に避難するなど訓練に参加しました。

主会場では、電気・水・ガス・道路・通信などの関係機関による復旧訓練や、女性防火クラブや小島小学校少年消防クラブによる初期消火訓練、赤十字奉仕団による炊き出し、災害救助ボランティアによる負傷者搬送訓練など、さまざまな訓練が行われ、地域が一体となって災害時の体制や連携を確認し、防災意識を高めました。



▲応急手当訓練

公正金魚すくい大会

大人も童心に返って

8月2日(土)、久瀬公正公民館で金魚すくい大会が開かれました。

今回で10回目になる金魚すくい大会には大人から子どもまで110人が参加しました。

地域おこしを目的に久瀬公正公民館が始めた金魚すくいは年齢に関係なく楽しめる好評で大人も童心に帰ってポイ(紙が貼られた金魚をすくう道具)を金魚に向かって走らせました。紙が破れないように金魚をすくうにはコツが必要と話す小学生の参加者は、器用に金魚を運んでいました。

この大会の優勝者は次のとおりです。
子どもの部 優勝 矢野祐絵さん
大人の部 優勝 竹中佳代さん



▲真剣な表情でみつめる子どもたち

中学生議会開会

生徒らが町政に提言

8月6日(水)、揖斐川町役場議場で、中学生議会が行われ、町内4校の代表19人が議員になり町政について一般質問や提言を行いました。

前半は、「郷土・学校の誇りに関わる提言」として地元住民とふれあう活動や学校での取り組みを発表しました。

後半は、揖斐川町をより発展させるための町への質問や提言があり、中学生ならではの活発な提案や要望が出ていました。

答弁をした宗宮町長は、「町を思う心を感じることができた。一つでも多くの意見を取り入れたい」と語り、議長を務めた揖斐川中学三年の高橋明花里さんは議会を振り返り、「他校のいいところを自分たちの学校に取り入れたい。もっと地域に貢献できることも考えたい」と話しました。



▲学校ごとの提言の様子

福祉施設合同夏祭り

入所者らが夏の夜を満喫

8月7日(木)、揖斐川町清水地区の揖斐川尚和園と西濃サンホーム、それに特別養護老人ホーム尚和園で福祉施設合同の夏祭りが揖斐川尚和園前で開かれました。

高齢者や障がい者が入所している同3施設では、毎年、合同の夏祭りが開催され、入所者や家族、地域の人らで賑わいを見せています。

この日も約700人が訪れ、祭りを楽しみました。

夏祭り会場では、風船釣りや景品の配布などのバザーが行われ、長い列ができていました。

また、赤い提灯で飾られた踊りの会場では、「おわら踊り同好会」の踊りが披露され、その後、入所者と来場者がいっしょになって、盆踊りを踊って夏の夜を満喫しました。



▲踊り会場の様子



▲締結式の様子（写真中央が鈴木社長）

給水、水道用ポリエチレン管などを製造している株式会社イノアック住環境（名古屋市中区）が、旧日東あられ新社揖斐川工場（極楽寺）を取得し、製品の製造工場として稼働させることが決まりました。

8月7日（木）には、企業誘致を進めていた揖斐川町と企業立地協定を締結しました。

締結式では、鈴木伸明社長と宗宮町長が調印し、鈴木社長は、「地域の発展に貢献できる事業を展開したい」、宗宮町長は「働く場所が確保され、ありがたい」とあいさつしました。

同社は、従業員10名ほどを地元採用し来年春から順次工場を稼働する予定です。

町とイノアック住環境が 企業立地協定を締結



▲子どもたちの踊り

8月14日（木）、藤橋ふるさと夏祭りが藤橋振興事務所の駐車場で開催されました。

お盆に行われたこの祭りへは、地域の人や郷帰りした地元出身者など大勢が訪れステージショーや盆踊りを楽しみました。

ステージショーには、チエーンソーアートやカラオケ、パフォーマンス集団の天風（アマツカゼ）が登場して会場を沸かせていました。また、幼児園の園児の踊りなどもあり、愛らしい姿が来場者の目を引いていました。

そのほかにも、会場では、じゃがバターやわた菓子などが振る舞われ人気を集めていました。

フィナーレには、対岸から花火が上がり、夏の夜空を彩りました。

藤橋ふるさと夏まつり ～多彩なステージが魅力～



▲力強い伝統の舞（光明寺にて）

8月16日（土）、春日川合地区で川合太鼓踊りが行われました。

川合太鼓踊りは、鮮やかな衣装を着た9人の踊り手と4人の笛などで構成され、ボンデンという幣束をもつ踊り手が、列の先頭に立って踊りの指揮をとり、列の最後尾には「ヤクガシラ」という踊り手が太鼓を抱きかかえ、激しく動きながら太鼓を打ち鳴らします。また、川合太鼓踊りは踊り手の顔が見えないという珍しい特徴を持っています。

この日は、雨となりましたが、光明寺では大勢の見物客が見守る中、お盆の時期に合わせた力強くも華やかな先祖供養の送り太鼓として舞が披露されました。

春日の太鼓踊り ～華麗な踊りで魅了～



▲「オトダスヒトラ」演奏の様子

8月17日（日）、谷汲サンサンホールで、「お十七夜コンサート」が開催されました。

参道の商店主らでつくる谷汲門前街並つくり委員会が町や参道の賑わいを取り戻そうと始めたこのイベントは、今回で9回目を迎えました。

口コミなどで広がり年々盛り上がりを見せる野外コンサートですが、この日はあいにくの雨。会場を谷汲サンサンホールに移して開催しました。

この日の出演は、音大卒業生や在校生でなる管楽器と打楽器演奏のグループ「オトダスヒトラ」と「岐阜大学コーラスクラブ」でした。

ホールには、約300人が詰めかけポップスやラテン音楽、谷汲をモチーフにしたオリジナル曲などを約1時間楽しみました。

お十七夜コンサート ～音楽につまれる谷汲の夜～

小島夏祭り

～900人踊りの輪～

8月18日(月)、小島夏祭りが小島小学校グラウンドで開催されました。地元の中学生リーダー52人が中心となって企画したこの祭りには小学生や地域の人など約900人が訪れました。

今年で12回目のこのイベントは中学生リーダーの努力が光っています。ポスター制作、踊りの研修、各地区の寄り合いで祭りをPRするなどの活動を毎年行つて準備を進めています。

その甲斐あって、今では、多くの人を訪れる小島の夏の風物詩に成長しました。

雨の影響で二日順延となりましたが、踊りのやぐらには踊りの輪が二重にも三重にも広がり、「揖斐川音頭」や郡上おどりの「かわさき」、アイドルユニットの人気楽曲などで盛り上がりました。



▲踊りを楽しむ来場者

水道施設を美しく

～清掃奉仕活動～

8月21日(木)、揖斐川町内の水道工事店15社が、町内の上水道配水池など、水道施設(3か所)の清掃奉仕活動を行いました。

毎年行われているこの奉仕活動には、15事業所から各1名、計15名が参加して早朝からお昼まで、水道施設やその周辺の草刈りを行い、施設の美化に努めました。

皆さんの協力によって施設周辺は、とてもきれいになりました。

清掃奉仕活動に参加された皆さんありがとうございました。



▲水道施設清掃の様子

小学生県外研修派遣事業(北海道芽室町・高知県宿毛市)

～ホームステイと農業・漁業体験と学校交流～

8月22日(金)から26日(火)まで、町内の小学校6年生20人が県外派遣研修で北海道芽室町と高知県宿毛市を訪れました。

児童らは、親元を離れて現地の小学校との交流やそれぞれの地の文化や産業に触れ見聞を深めました。

芽室町では農家にホームステイしてジャガイモの収穫など十勝平野の大規模な農業を体験しました。宿毛市では、海でかご漁を体験し、とれたての魚を自分でさばいて味わったり、シユノーケリングなどして、岐阜県にはない海を知り学びました。

研修を終え感想を述べた児童らは、大きく成長しているようでした。



▲派遣団出発式



▲宿毛市での漁業体験



▲芽室町でのジャガイモの収穫体験